

全日本柔道女子  
軽量級ダブルスカル大元英



## リオで輝け！！

ブラジルで開催されるリオデジャネイロオリンピックに全日本柔道女子監督として初出場する仙台大学の南條充寿教授(44歳)とボート男子軽量級ダブルスカルに初出場する仙台大学卒業生の<sup>おおもと ひで き</sup>大元英照選手(31歳)です。=ともに柴田町在住=。6月29日に行われた仙台大学主催の壮行会では、「町民の皆さんにも良い結果をお届けしたい」と世界の強豪との熱き戦いを前に意気込みを話してくれました。開会式翌日の8月6日に柔道、ボートとも競技が始まります。皆さん応援してください。

(写真右：南條監督、写真左：大元選手 (アイリスオーヤマ所属))

# 町のイノシシ被害と対策

近年、山林と居住地との境界線が薄れてきています。イノシシやクマといった野生動物が頻繁に人の住む地域に現れ、農作物を荒らしたり、住宅地に出没し人を襲ったり、車両との衝突事故を起こしたりするなどの問題が全国的に多発しています。

町もその例外ではありません。

今回は、町内で特に多いイノシシによる農作物被害の状況や対策、地域での新たな取り組みについて紹介します。

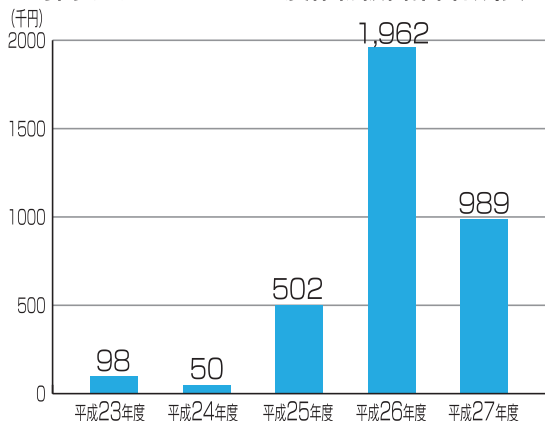
写真：農地に設置された電気柵（葉坂地区）

## 現状

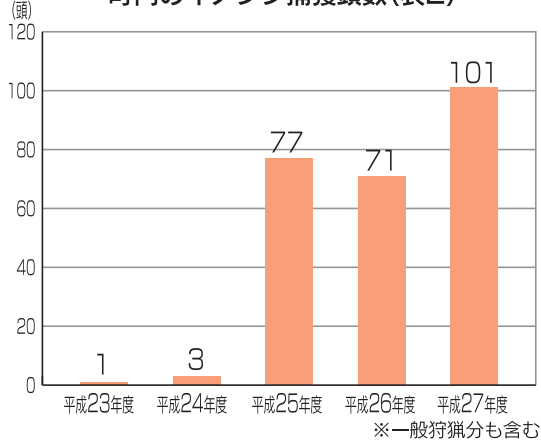
町内では、特に槻木地区の山間部でイノシシによる農作物被害が多発しています。地面に顔を出す前のタケノコ、植えたばかりのジャガイモ、収穫間際のかぼちゃやデントコーン、さつまいもが食い荒らされるなど、ほぼ年間を通して被害があります。ここ数年は水稻被害も深刻になってきています。秋の稲刈り前の田んぼが、一区画ほどイノシシによって踏み荒らされたこともあります。イノシシが触れた稲は臭いがついてしまい出荷することができません。被害を受けたことにより、農業者の営農意欲が失われ、耕作放棄地が増えていくことも懸念されています。

また、エサが不足する冬季には、草の根やミミズを捜すため、農地や道路の法面が掘り起こされることも

町内のイノシシによる農作物被害推計額(表1)



町内のイノシシ捕獲頭数(表2)



- ① 日中でも出没するイノシシ (中名生地区)
- ② 踏み荒らされた稲刈り前の田んぼ (入間田地区)
- ③ 掘り起されたジャガイモ (葉坂地区)

町ではイノシシ被害対策として、わなを利用した「捕獲」と電気柵などを利用した「防除」の両輪によ

## 対策

あります。住宅街や学校付近に出没することもあり、イノシシの行動範囲は広がっています。

槻木地区の農免農道沿いでは、車両とイノシシの衝突事故も報告されています。

県内のイノシシが生息する北限は丸森町までといわれています。しかし、原発事故の影響で、イノシシ肉から放射性物質が検出されたことや、狩猟者の高齢化も相まって、平成23年度以降は狩猟目的のイノシシ捕獲が減少し、生息域が急激に拡大しています。そのため、町内でもイノシシが増加し、平成25年度以降、農作物被害額も大幅に増加しています。(表1)

また、町では平成26年度から、狩猟期間中にイノシシを捕獲した一般狩猟者に対する捕獲奨励金の交付や、新たに狩猟免許を取得する

り進めています。

○捕獲に関して

イノシシを捕獲するには、狩猟免許が必要です。平成25年度から町長が任命した10名の柴田町鳥獣被害対策実施隊員(以下実施隊)が中心となり、イノシシの捕獲を進めています。捕獲は主に、「箱わな」や「くくりわな」によって行われます。農作物被害があった場所やイノシシが頻出している場所を調査し、わなが設置可能か、捕獲できそうかなどを判断し、わなを随時移動させながら設置しています。藪の奥まで重い箱わなを運んだり、捕獲したイノシシを運んだり、捕獲作業は地道で重労働ですが、平均年齢68歳の実施隊員はものともせず、逞しく活動を行っています。



6



4



5



7



8

- ④ 崩され埋まってしまった道路脇の土側溝（富沢地区）
- ⑤ 広範囲にわたって掘られた太陽の村下段の多目的広場
- ⑥ 「箱わな」にかかった4頭のイノシシ（富沢地区）
- ⑦ 狭い獣道に仕掛ける「くくりわな」
- ⑧ 柴田町鳥獣被害対策実施隊員

際の講習会受講費用の助成などを行い、イノシシ捕獲の強化に向けて事業を推進しています。

捕獲頭数は、平成25年度以降、大幅に増加し、平成27年度の捕獲頭数（狩猟期間中の一般狩猟も含む）は100頭を超えています。

（表2）

### ○防除に関して

イノシシは年間4頭から5頭ほどの子どもを出産します。非常に高い繁殖力を持つため、捕獲により頭数の増加を食い止めることが出来ても、減らすことは難しいのが現状です。そのようなかで農作物被害を減らすためには、電気柵などでイノシシの侵入を防ぐことが必要不可欠です。町では平成25年度から、侵入防止柵の購入費用を一部助成しています。山間部においては、農地への電気柵の設置が増えています。

### 地域ぐるみで対策

イノシシの被害対策として、イノシシの「捕獲」と電気柵などを利用した「防除」の取り組みが欠かせませんが、個人で対応していくには限界があります。

【葉坂地区鳥獣被害対策協議会】

### イノシシ被害を減らすために



柴田町鳥獣被害対策実施隊  
日下 泰治さん

私たちは、イノシシを捕獲するため、主にわなの設置、工サの補充、見回りや捕獲後の止めさし、埋葬などの後処理を行っています。数年前と比べイノシシの数はかなり多くなっていると思います。少しでも多くのイノシシを捕獲していきたいです。また、住民の方の協力も必要なので、被害にあった農家さんのもとへ現場確認に行ったときには、イノシシの工サとなる野菜くずなどの放置をしないことや、隠れ家になりやすい藪を刈り取ることなど、声掛けもしています。



11



9

- ⑨ イノシシ被害の現場確認 (船迫地区)
- ⑩ 葉坂地域でのイノシシ対策の勉強会
- ⑪・⑫ 葉坂地域での電気柵設置作業



12



10

## イノシシ被害を受けない地域づくりを



葉坂地区鳥獣被害対策協議会

会長 平間 信一さん

以前からイノシシによる農作物被害が多い地区でした。個人で電気柵を設置している方が増えてはいますが、それでは隣の田んぼにイノシシが行くだけです。やはり地域全体で電気柵を広く設置した方が効果がありますし、経費も安く済みます。今年の4月からイノシシ対策に関しての勉強会などを行い、7月9日には電気柵設置作業を地域住民で行いました。今後の定期的な草刈や点検など、管理は大変ですが、イノシシ対策を個人ではなく地域全体で考えるきっかけになればと思います。

平成25年度から27年度まで、合計41頭(町内全体の約18%)のイノシシが捕獲された葉坂地区では、個人で畑を中心に電気柵を設置していました。しかし農作物被害は減らず、最近では水田にまでイノシシが侵入するようになりました。そこで、行政区長でもある平間信一さんをはじめ、地域の方々から「電気柵を大規模に設置し、葉坂地区全体でイノシシの被害対策に取り組む時期が来ているのではないか」と声が出るようになりました。

今年4月に、地域住民で組織する葉坂地区鳥獣被害対策協議会を設立。農地に設置する電気柵の購入は、国の補助金制度を活用しますが、設置後の管理や、漏電防止のための周辺の草刈などは地域住民で行います。個人だけでは見落としてしまう作業も、地域住民同士で行えば見落としも少なくなります。さらに、藪の刈

り取りなどお互いに注意して行っていければ、イノシシを寄せ付けない環境づくりが可能となります。

イノシシをこれ以上増やさないための捕獲の推進や、電気柵などでの農作物の防除が被害対策として大事なものは言うまでもありません。山林から野生動物が簡単に居住地に来ることの無い、地域ぐるみの環境づくりも必要な時期にきています。

## 野生動物被害などに関する相談やお問い合わせはこちらへ

イノシシなどの野生動物による農作物被害や、各種補助事業の相談、被害の軽減に向けて地域ぐるみで行う対策などを支援します。

圃農政課

☎ 55-2122

爽やかに 楽しく

# 「町民スポーツ大会」



6月7日(火)から7月13日(水)にかけて、町民スポーツ大会が開催されました。

この大会は、体力の増進と町民相互の親睦を目的に毎年開催されています。

仲間のチームプレイを拍手で称え、対戦相手の鮮やかなプレイには「ナイスプレイ」と声をかける姿は、スポーツマンらしく爽やかでした。

ゲートボール、ビニールボール、ソフトボール、グラウンド・ゴルフは、今月28日(日)に川崎町で行われる「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」への出場を決める予選会も兼ねています。熱戦を制した個人・団体を紹介します。

※敬称略 ※写真と大会結果は関係ありません。

問 スポーツ振興課 Tel.55-2030



### 第36回町民ゲートボール大会

6月7日(火) 総合運動場 7チーム35人参加

- 【優勝】 新寿会A
- 【準優勝】 さくら会A
- 【第3位】 船迫寿会  
長生会



### 第54回町民ビニールボール大会

6月19日(日) 船岡体育館 5チーム55人参加

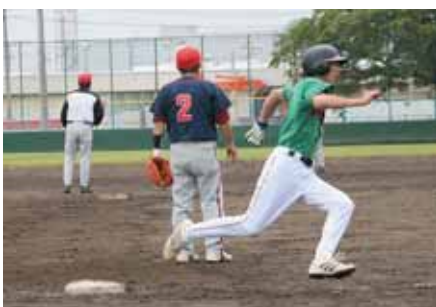
- 【優勝】 チーム西住
- 【準優勝】 EAST
- 【第3位】 中曽根



### 第44回町民ソフトボール大会

6月26日(日)・7月3日(日)  
柴田球場、総合運動場、並松G、阿武隈G  
21チーム367人参加

- Aブロック 【優勝】 三ヶ屋敷
- 【準優勝】 5区 (中央みどり)
- Bブロック 【優勝】 12区リパース
- 【準優勝】 フィルダース



## 第13回町民バドミントン大会

6月12日(日)船岡体育館 28組56人参加

### ダブルス1部

【優勝】大宮 司 嶋田 雅人  
 【準優勝】阿部 貴弘 佐藤 志帆  
 【第3位】氏家 大輔 森 秀幸

### ダブルス2部

【優勝】室伏 孝 齋藤 翔平  
 【準優勝】近江 幸次 秋山 和士  
 【第3位】菊地 学 菊地 香純

### ダブルス3部

【優勝】今野 智之 橋本 真宣  
 【準優勝】小林 廉彦 斎藤 つい子  
 【第3位】村山 琢也 佐藤 亜希子

### ダブルス4部A

【優勝】渡辺 牧子 渡辺 伶奈  
 【準優勝】大場 広子 加茂 真  
 【第3位】長谷川 清 跡部 かおり

### ダブルス4部B

【優勝】武山 昭彦 山本 勤  
 【準優勝】モラレス・ロレッタ 渡辺絵梨香  
 【第3位】岸原 広子 大村 正利



## 第41回町民ラージボール卓球大会

6月26日(日)船岡体育館 86人参加

### 男子シングルス1部

【優勝】鈴木 好  
 【準優勝】阿部 清吉  
 【第3位】宮澤 則夫

### 男子シングルス2部

【優勝】日笠 次男  
 【準優勝】菅生 謙一  
 【第3位】柴崎 文雄  
 相澤 信夫

### 女子シングルス

【優勝】相澤 恵子  
 【準優勝】桜井 美佐子  
 【第3位】吉澤 たい子  
 佐々木 征子

### 混合ダブルス

【優勝】阿部 清吉 倉繁 ふみ子  
 【準優勝】藤田 浩三 相澤 恵子  
 【第3位】宮澤 則夫 鈴木 いく子  
 鈴木 好 桜井 美佐子

## 第19回町民グラウンド・ゴルフ大会

7月13日(水)総合運動場 176人参加

【優勝】谷口 勲  
 【準優勝】佐藤 満  
 【第3位】加納 勝美





# 大会に参加されたみなさんからのメッセージ

## ラージボール卓球



宮澤 則夫さん  
(60歳)

卓球を始めたのは平成13年頃で、友達から誘われて始めました。卓球をしていなかったら、こんなに仲間が増えていなかったと思います。週3回活動し、暇なくやっています。それも妻の協力があつてのもので感謝しています。

## バドミントン



モラレス・ロレッタさん  
(18歳)

ホームステイで柴田町に来ています。フランスでもバドミントンをしていましたが、まさか日本でも楽しめると思っていませんでした。誘ってくれた地域の方々に感謝しています。バドミントンを通して日本でも友達が増えました。すごく楽しかったです。

## ソフトボール



佐藤 敏明さん  
(38歳)  
(チーム名：三ヶ屋敷)

ずっと野球をしていました。地域の人に誘われてソフトボールチームに入りました。地域の方と仲良くなれることが一番だと思っています。子どもにもホームランを打って活躍したよ」と言いたいですね。

## ピニールボール



扇 勇樹さん  
(40歳)  
(チーム名：29A区)

PTAの大会に参加したのがきっかけで続けています。プレーすることも楽しいですが、地域の方々と楽しくやれることがいいですね。体を動かして、健康のためにもいいスポーツだと思えます。皆さんもピニールボールをやってみてください。

## 昭和56年の「町民スポーツ大会」

当時は、町民レクリエーション大会と呼ばれていました。



剣道大会  
当時は剣道も行われていました。



ソフトボール大会  
船岡小学校が木造だった頃です。



バレーボール大会と卓球大会  
男子選手の短パンと女子選手のロールアップ(裾まくり)が昭和です。





柴田町長 滝口 茂

今年の帰省時の渋滞は、常磐自動車道の全線開通で少しは緩和されそうです。このように地方にとって道路整備の効果は絶大なものがあります。

しかし、人口が減り、経済が縮小する時代を迎えて、道路や公共施設などの公共事業に対する風当たりが強くなってきました。「人がいなくなつた地方に、なぜ高速道路をつくるのか」「道路などの公共事業は国の借金を膨らませるだけだ」といった批判です。

今後、さらに高度成長期につくられた道路・橋・トンネルや公共施設などのインフラが老朽化してくれば、維持管理に要する費用が増え、新たな公共事業に回すお金はほとんどなくなつてしまいかねません。そのため、国は市町村に対し、公共施設や道路、橋などの土木系インフラの棚卸を行い、平成28年度に「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請しています。いわゆる公共施設マネジメン

ト論の展開です。この計画に盛り込まれる柱の一つに、同じような機能を持つ施設の統廃合、二

## 公共施設マネジメントとは

つに、老朽化した施設の建替え、三つに、計画的な修繕や大規模改修による長寿命化があります。公共施設マネジメン

ト論という「ムダを省いて効率化を図る中で財源を生み出し、それを新たな行政サービスに振り向けていくべき」ということに對しては、誰も異を唱えられない、まさに正論です。

しかし、これを実行するとなるとそう簡単ではありません。今まで施設を利用していた人からみれば不便になるし、また、費用対効果や利用者数を求められれば、地方に道路や公共施設はつくれなくなつてしまいます。公共施設マネジメント論には相当の痛みを伴う副作用があることを覚悟しなければなりません。

私としては、公共施設や土木系インフラの効率的な維持管理のあり方を常に頭の中に入れておくことは当然のことだと思つています。一方で、その事業がたとえ非効率で、便益が過小であつたとしても、地域住民の生活に必要な公共施設は残していく方向で「公共施設等総合管理計画」を策定したいと考えています。それが真の意味で住民の立場に立った人情味のある政治ではないかと思ひます。



## 柴田町図書館槻木分室がオープン

7月1日(金)、槻木生涯学習センターの図書室が柴田町図書館の職員が常駐する「槻木分室」としてオープンしました。

オープンにあたっては、本の入れ替えと新規購入を行い、これまで手薄だった実用書のバリエーションを増やしたほか、新聞や雑誌類も新たに備えました。本の貸出や返却、蔵書の検索については、図書館本館とのオンラインシステムとし、図書館本館の本も槻木分室で貸出・返却ができるようになったため、槻木地区の図書館利用者の利便性向上につながっています。

### 開館日

○火曜日～土曜日

### 開館時間

○午前10時～午後5時

### 休館日

○祝日および槻木生涯学習センター

休館日

○毎月第4木曜日(館内整理日)

○年末年始(12月28日～1月4日)

○特別整理期間(4月中旬実施予定)

※その他、臨時休館とさせていただきます場合もあります。

### 柴田町図書館槻木分室 (槻木生涯学習センター内)

TEL 87-8290

FAX 87-8293

Eメール

library@town.shibata.miyagi.jp



# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ26

☎ 健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第26回のテーマは、『特定保健指導「しばた得！トク健康教室」に参加しよう』です。

40歳から74歳の柴田町国民健康保険加入者を対象に実施している特定健診の結果から、生活習慣を改善すれば生活習慣病の予防効果が期待できる方に、特定保健指導「しばた得！トク健康教室」のお知らせをしています。

平成27年度は87人が参加し、保健師・管理栄養士・運動指導士などの専門スタッフとともに、食事や運動などの改善に半年間取り組みました。その結果、参加者の75%以上の方に腹囲や体重の減少がありました。

体重5.9kg、腹囲6.6cm減少し、目標を達成した方から健康教室の体験談を聞かせていただきました。



「しばた得！トク健康教室」の様子



## 「しばた得！トク健康教室」に参加して、生活習慣の改善に成功した阿部せい子さん（船岡土手内）

### ○教室参加のきっかけ

町の保健師さんから電話がきて、体力測定や筋肉量、体脂肪量を図りながら健康づくりに取り組みませんか。とお誘いを受け、「これは行かなきゃ」と思いました。

### ○生活習慣改善の方法

**食事** 夜8時以降は水・お茶以外は摂らないようにしました。ビールを我慢し、塩分を控えて、納豆や豆腐、野菜を多く食べるようにしました。**運動** ダンベル体操のほかに、家でストレッチやラジオ体操を毎日行いました。**成果** 最初は変化がなくやめようと思いましたが、がんばって続けたところ3カ月後から体重が減ってきました。

### ○健康教室へ参加した感想

病院に通いたくないと思い頑張りました。教室はいろいろ勉強できて楽しかったです。やっぱり食事が大切だと思いました。周りから「やせたね」と言われると嬉しいです。

## 保健師より ワンポイント アドバイス

国の調査で、特定保健指導を受けた方は腹囲・体重・血糖・血圧・脂質などの検査値が3年間継続して改善しています。また、年間1人当たりの入院外医療費が6,000円程度少なくなっていることが確認されています。教室のお知らせが届いた方は、ぜひ参加して、健康になるための生活習慣を身につけましょう！

広 告

広 告

# まちかど NEWS



公園を彩った約2,600株の紫陽花

## 梅雨の季節を彩る 「第3回しばた紫陽花まつり」

NEWS

6月17日(金)から7月10日(日)にかけ、船岡城址公園で「しばた紫陽花まつり」が開催されました。期間中は、約1万8千人の方が訪れ、色とりどりの紫陽花を觀賞していました。

蔵王町から来た石川靖弘さんは、「桜の季節以外で初めて訪れました。こんなに数多くの紫陽花が咲いているとは思わなかったです」と、色々な種類と本数の多さに驚いていました。



開花式には、多くの方が集まりました。

## みんなで体操いち・に・さん

NEWS

6月18日(土)、船岡体育館で「町民ラジオ体操のつどい」が行われ、子どもから大人まで52人が参加しました。

元NHKテレビのラジオ体操アシスタントを務めていた講師から、ラジオ体操第1の13種類それぞれの動きのポイントや体への効果を教わり、元気いっぱい体を動かしていました。

尾本勝志さん(西船迫地区)は、「教員をしているので、早速子どもたちに正しい動きを教えたいです」と話してくれました。



講師にあわせて体を動かす参加者の皆さん



編み物や洋裁も得意だった平間さん

## 平間 久さをさん、100歳のお祝い

船岡土手内2丁目の平間久さをさん(大正5年6月20日生まれ)が満100歳の誕生日を迎えられました。

平間さんは、旦那様と共に、土手内で共同浴場の管理人として働き、4人のお子さんを育てました。

当日は、ひ孫さんたちから長寿の祝いとしてプレゼントされた、ピンクのちゃんちゃんこを着て町長を迎えてくれました。

料りが得意で、お客様をおもてなしするのが大好きだった平間さん。いつまでもお元気でいてください。

広 告

広 告

## 救急車が到着するまでの応急手当が重要です

NEWS

6月26日(日)、第7A区集会所で、第7A区婦人防火クラブと第7A行政区共催による「救急救命講習会」が行われ、18人が参加しました。柴田消防署員から止血の方法や、心肺蘇生法とAEDの使用手順について、署員のユーモアを交えながらの説明に、和やかな雰囲気の中で参加者は真剣に取り組んでいました。



AEDの操作を体験する参加者の皆さん

## 2年ぶりに匠(たくみ)の技が集う「第3回しばた匠まつり」

NEWS

7月2日(土)、3日(日)、船岡城址公園で、「第3回しばた匠まつり」が開催されました。県内外から熟練の手工芸品作家63組が集まり、作品の展示販売が行われました。来場者は、職人の作業風景を見たり、作品を手に取りながら説明を受けたり、匠の技の魅力を感じていました。松田彩美さん(西船迫地区)は、「手作りの工芸品を見るのが好きです。全国の職人さんの作品を町内で見ることができ、とても楽しかったです」と話してくれました。



出展ブースを見て回る来場者



町長に報告に訪れた山家副団長、平間団長、平井副団長(右から)

## 柴田町消防団が「竿頭綬」を受賞

かんとうじゆ

柴田町消防団が、6月25日(土)に開催された「第67回宮城県消防大会」で、日本消防協会より「竿頭綬」を受賞しました。平成9年以来2度目の受賞になります。「竿頭綬」は、消防団の厳正な規律の保持と熟達した技能を有し、かつ消防施設の充実に努めた功績がほかの模範となる消防団に授与されるものです。平間泰夫団長は、「今回の受賞は先輩方の功績によるもの。地域防災の要となるよう引き続き努力をしていきます」と話されました。



E.M菌の泥団子づくりに夢中になる児童たち

## 泥団子で地域をキレイに

NEWS

6月15日(水)、西住児童館で、地域の生活問題などを考える「西住生活学校」の皆さんと、西住小学校の児童11人が、環境教育の一環として、水質浄化作用のあるE.M菌の泥団子づくりを行いました。横山千紘さん(西住小学校3年生)は、「この泥だんごで身近にある川が少しでもきれいなになればいいな」と話してくれました。この日作った泥だんご約100個は、1カ月程度発酵させた後、地域内の川や花壇などで使用することです。

広告

広告

俳句

花いかだ梅雨のしずくで船出かな  
西船迫 玉手みき子

孫連れて蔵王の原に薔薇を観る  
船岡 可沼 妙子

梅雨晴間百花繚乱秋田駒  
西船迫 安ヶ平奈津枝

雨泣かず暑さしのぎのたらい水  
船岡 安藤 節子

手をつなぐ夜は短かし七夕は  
船岡 菲神 葛

吸ひ物の椀のぬくみや夜の秋  
中野西範子

何色が好き紫陽花のひとりごと  
石垣テル子

出迎へは揺れるあぢさる明月院  
制野 千秋

添ひ寝する母のまどろみ夜の秋  
遊佐 徹

本読めば夢と出会える夜の秋  
山家美智子

杉木立額紫陽花の雨宿り  
三塚 直樹

身近なるものに幸せ茄子の花  
及川美沙子

バス停に塚の名多し夏の雲  
藤原 恪子

七夕や宇宙の無重に夢託す  
若月ノリ子

ジャムパンのジャムを削りて敗戦日  
大久保和子

海の虹ひとつで書きの遺言とも  
佐藤きみこ

川柳

「不適切」東京都知事にあの人は  
西船迫 三澤 精一

フットバスふたりでめぐる百選を  
舟廻めぐみ

言いかけた言葉のみこむ嫁・姑  
西船迫 渡辺 晴江

燃費偽装車王国みんな泣く  
西船迫 安ヶ平良三

踊らされアベノミクスで株下落  
梶木 大宮 二郎

仕上りを早く見たくてミシン踏む  
船岡 阿部美代子

つばくらめ一級建築左官業  
船岡 伊藤タイ子

雨水も流せば洪水貯れば資源  
船岡 小林 夢子

背伸して生きてることは似合わない  
梶木 加藤 利通

素晴らしい夜明けの時間朝やけが  
梶木 つきのき町子

短歌

高校の野球部員の声高し  
真紅の旗を今年こそはと  
船岡 可沼 妙子

アルバムの孫の成長探したら  
逝ったあの猫が一緒に笑う  
本船迫 森田 眞六

「こめんしやい」と虫の亡きがらに誤りし  
涙あふるる子はまだ二才  
船岡 沢田 順子

そら豆とおもへる指でシヨパン弾く  
金曜の宵魔女の貴女は  
大槻 信吉

ご利用ください

花のまち柴田イメージキャラクター

はなみちゃんデザイン

観光関連イベントの他、各種地域団体の印刷物、企業の製品やそのパッケージに活用されています。個人利用の場合は手続きなしで「はなみちゃんデザイン」を使用できますが、営利目的の商業利用の場合は簡単な手続き（申請書の提出）で、「はなみちゃんデザイン」を使用できます。

※印刷の場合、キャラクターデザインのアレンジはできません。

※デザインおよび申請書は町ホームページからダウンロードできます。

※着ぐるみの使用については、(一社)柴田町観光物産協会(TEL 56-3970)にお問い合わせください。



問 まちづくり政策課 TEL 54-2111  
FAX 55-4172



夢空間 2016



切り絵「岩沼線路の風景」  
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



はなちゃん (ペンネーム)

**smile kids** お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「楽しいけどちくちく」(絵)  
西住小学校5年  
たかはし のぞみ  
高橋 望さん



「うちゅうダンス」(絵)  
西住小学校2年  
やまき しおん  
八巻 紫苑さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(ことうほう文芸)、自己表現コーナー(夢空間2016)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで8月4日(木)までご応募ください。

※応募する場合は投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広報 **しばた** お店や会社のPRに 有料広告募集中!

「広報しばた」に掲載する広告を募集します。お店や会社のPRなど、暮らしに役立つ広告をお待ちしています。掲載料金などの詳しい内容については、お問い合わせください。

☎まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告